

日本ラート協会 会員各位

## 採点規則2016 一部改訂について

2017年6月  
日本ラート協会

初夏の候、会員の皆様におかれましては、いっそうご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度、「採点規則2016」を一部改訂しましたのでご連絡致します。今回の改訂事項は2017年全日本ラート競技選手権から採用されますので、内容をご確認の上、大会にご参加頂きたいと思っております。ご不明な点などありましたら、日本ラート協会までご連絡お願いします。これから夏本番となります。怪我に十分気を付けて練習に励んで頂けると幸いです。

### 新規追加

#### 1. 大斜転から小斜転への移行について

大斜転から小斜転への移行は、次の運動である小斜転の握りや立つ位置で行われる（姿勢を変えない）。

姿勢の変化があった場合

固定減点0.2点（移行のユニットから減点される）

\*実施された運動は難度、構成共に認める。

#### 2. 小斜転周辺系で再開する場合の予備回転について

演技再開の際、1回転以内に小さくした左右開脚立ちの姿勢を作らなければならない。

1回転以内に運動に入れていない場合には大減点0.8点（落下）とする。

### 追記・変更

#### 1. 運動の繰り返し

##### ① 4.2.6.1 直転

運動の繰り返しにはならないもの

同じ運動を腕や脚の姿勢のバリエーション（両手と片手、脚の開脚方法）を変えて行った運動。

→（両手と片手、両足と片足、脚の開脚方法）

\*閉脚での両足立位、片足立位はどちらの運動も認める。

## 2. 運動の繰り返し

### ② 4.2.6.2 斜転

運動の繰り返しにはならないもの

小斜転で、足を置く場所や握る場所を変えて行う同じ運動（小斜転・横姿勢のバリエーション）

→追記

大斜転においては、「閉脚立位」と「閉脚片足立位（片足をどこにも置かない）」は繰り返しとなる。

## 3. 跳躍の価値点、加点の変更

価値点の変更

D3 開脚支持転回跳び 1.0 点 改定難度⇒1.3 点

D4 支持懸垂・転回跳び 2.0 点 改定難度⇒1.0 点

空中でのひねりに対する加点

・「転回跳びの場合」に対するひねり加点は、「宙返り・転回跳び以外の場合」と同じとする。

・アオエロバツハの1回ひねりに対する加点 +2.2 （今後の大会においても継続）

以上